

税金ってなんだろう？

税金とは、みんなが力をあわせてよい社会を作るためのお金のことです。

警察、消防、救急、ごみ収集などの「公共サービス」

学校、公園、道路、などの「公共施設」

これらは私たちの生活に欠かせません。

このような活動を維持するためには、多くのお金が必要です。そのための
お金を、私たちは「税金」という形で広く公平に負担しています。

日本には、およそ50種類の税金があります。

国に納めるもの・・・消費税、酒税など

都道府県・市町村に納めるもの

・・・自動車税、住民税など



もし、税金がかかるたら？

ごみが
回収されない…



壊れた橋を
修理できない…

救急車や警察、
消防を呼ぶと、
お金がかかる…



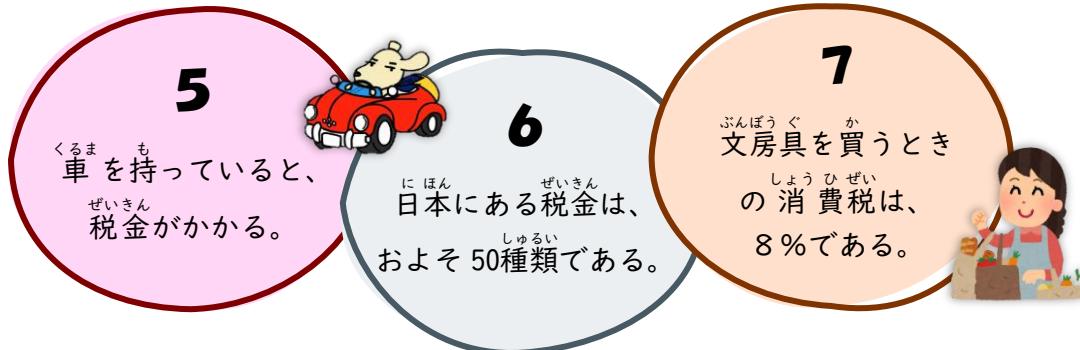
このように、
たくさんの影響があります。





税金〇×クイズにチャレンジ

答えは下にあるよ。難しいときは家族と一緒に読んでね。



税についてもっと知りたい方は・・・



©2014 大阪府もづやん



クイズの答え

- 1 ○ 税金は、公共施設や公共サービスといった公益的なもののために使われています。
- 2 × 701年（約1300年前）に制定された「大宝律令」で「租庸調」という税金の仕組みができました。当時の税はお米や特産品、労働力でした。
- 3 × 一部の市町村では、温泉施設を利用すると、入湯税という税金がかかります（例：大阪市）。
- 4 ○ お菓子の食べ過ぎによる肥満を防ぐため、2011年からハンガリーで導入されました。「健康増進税」といい、塩分や糖分の多いお菓子や飲み物にかかります。
- 5 ○ 自動車税は車を持っている人にかかります。軽自動車は市町村に、普通車は都道府県に納めます。
- 6 ○ 国税が25種類、地方税がおよそ25種類です（財務省のホームページより）。
- 7 × 消費税は商品によって税率が変わります。食べ物（お酒と外食を除く）、家に届く新聞は8%ですが、文房具など、それ以外のものは10%です。この消費税額のうち22%が、地方消費税として地方政府に納められます。